

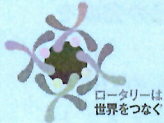


ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.29

会長 西崎 徳彦 幹事 柳 口 崇 編集者 沼田 啓后 令和2年3月3日発行



ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-2020年度
RI会長
マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

2月25日例会（第2116回）記録

司会 飛石SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「八代南RC讃歌」

ゲスト 中尾衣井子君

(地区IAC副委員長・八代東)

会長の時間 西崎会長

新型コロナウイルス感染症に伴う、協力をお願いが八代市よりも通知されております。

令和2年2月20日付けで厚生労働省から「イベントの開催に関する国民のメッセージ」が出され、感染拡大防止の観点から、状況を踏まえて開催の必要性を改めて検討するよう要請がなされたところです。また、熊本県においても、同年2月21日付けで県主催行事に係る対応方針が示されたところです。八代市においても令和2年3月末までを目途に

1. 不特定多数の参加が見込まれる屋内での行

3月10日の例会	3月17日の例会
創立44周年記念例会 夜間例会	FSM報告 各リーダー
VSOP今年度累計	289,845円

事については、原則として延期または中止とする。

- 延期または中止する場合、参加者等への周知を徹底する。
- 関係する民間団体及び企業に対して、開催の再検討を要請する。

感染予防に関する「咳エチケット」のお知らせについても、八代市のホームページに掲載されております。

- マスクを着用する。
- ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。
- 上着の内側や袖で覆う。

皆様、まずは3月末まで予防に努めていきま

出席報告 宮田委員長				欠席会員名		メイクアップ済会員名	
本日の出席	会員総数	46名	出席率	計	15名	計	名
	出席会員数	29名					
	当日分メイクアップ済会員	0名					
	計	29名					
2/11の修正	2/11の出席会員数	名	前回補填会員名	休会	計	名	
	補填会員数	名					
	計	名					%
昨年	月出席会員数	名	%	計	名		
他出席会員名	出席免除：西田会員・市野会員					計	0名

しょう。

ちなみに、インターネット上のエチケットの事は「ネチケット」と言います。

(友情の握手は取り止めました)

幹事報告 柳口幹事

1. 例会取止め

・熊本南RC 3月30日(月)は定款に基づき休会。

・八代東RC

3月19日(木)は定款に基づき休会。

3月26日(木)は「花見例会並びに新会員歓迎会」の為

日時：3月26日(木) 18:30～

会場：宗弘

2. 本渡RCより創立60周年記念式典のご案内
→回覧

3. 例会終了後、理事会を開催します。

スマイルBOX 豊岡会員

中尾会員(八代東)：本日卓話を致します八代東ロータリークラブの中尾と申します。宜しくお願ひ致します。

富会員：本日の卓話者 中尾衣井子様へ感謝してスマイルします。

ロータリー財団委員会 松嶋副委員長

VSOPに寄付

氏名	今回の寄付金額
沼田会員(株ユーテックス)	2,657円
松岡会員(株ゼロワン)	12,200円
南郷会員(南郷クリーニング)	3,000円

米山奨学金委員会 松嶋副委員長

氏名	寄付金	氏名	寄付金
下田会員	1,000円	湧上会員	1,000円

卓話 インターアクトについて

地区IAC委員会 副委員長 中尾衣井子様

1. インターアクトとは

1962年(昭和37年)に米国・フロリダ州メルボルのロータリークラブによって最初のインターアクトクラブが設立。

日本においては、1963年(昭和38年)6月に宮城県の仙台育英学園高等学校に設立。

2. 定義

12～18歳の中学・高校生を対象としたクラブで、学校または地域社会をベースとして活動。

年に2回、奉仕活動を実施する事(学校や地域社会への奉仕を目的とするもの、国際理解を推進するもの)

ロータリークラブの支援を受けて設立されるIACでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につける。

3. 目標

国際ロータリー認証のもと、「IACは奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する」という事を念頭に、

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること
2. 他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を育むこと
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する心を養うこと
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること
6. 自己能力の開発、時間管理、個人の資金管理などの生活力を養うこと
7. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を認識すること
8. 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること
9. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として進むべき道を切り開くこと

4. インターアクトクラブの活動事例

- 募金活動や清掃活動
- ペットボトルキャップ回収や使い捨てコンタクトレンズの空容器回収
- 提唱ロータリークラブとの共同活動
- 各種イベントのお手伝い、障害者施設や老人施設慰問
- 学習ボランティア(小学生を対象に夏休みや放課後に宿題など教える)
- 廃油石鹸作り(学校食堂から出る廃油を利用して石鹸を作り、文化祭バザーで販売され、売上金は全額寄付)
- 書き損じハガキをユニセフへ寄付
- 海外への支援物資送付(体育館シューズや文房具、衣類など)